

タテホ化学が取り組む地域貢献

赤穂海浜公園命名権取得

「タテホわくわくランド」に

兵庫県園芸・公園協会が運営・管理する赤穂海浜公園の命名権をタテホ化学工業が取得、2012年11月23日に遊園地の看板の除幕式が行われた。

同公園はリニューアルに合わせて地域振興創出を目的に初の命名権募集を実施、地元企業が応募、その結果、タテホ化学工業が取得した。命名権は年間60万円で20



15年3月末までの使用契約期間である。除幕式で、湊哲則社長は、「私共は赤穂に生まれ、育まれてきました。地元根差した企業として赤穂振興の一助になればと命名権に応募、このたび、取得することが出来ました。今後とも地域振興発展に寄与していきます」と挨拶した。

赤穂市立城西小学校へ出前授業（第三回）

赤穂市立城西小学校（山本郁美校長）で2013年2月21日に出前授業を行った。この取り組みは同社の赤穂に根差す化学メーカーとして、化学に関心を持ってもらうことを目的に同小学校に発案、実現したもの。一年一回例年2月に4年生に対して同社若手社員が講師として行い、今回で第3回目になる。今回は4年生2クラス60名に、タテホ化学の社員6名が酸化マグネシウムの特徴を分かりやすく説明した。

授業内容は、①タテホ化学工業の概要説明、②酸化マグネシウムの特徴を実験で説明、③酸化マグ



出前授業に子供達は大喜び

ネシウムの用途説明である。この内、ヒーター内からニクロム線を引っ張り出す体験は初めてだけに構造や役割について興味深く覗き込むなどしていた。

質問コーナーでは、「酸化マグネシウムは苦汁（にがり）と石灰以外からは出来ないのですか」など活発な質疑応答が交わされた。山



実験風景



真剣に体験

本校長は「授業での子供たちの表情が活き活きしており、この授業に対する子供たちの興味深さが一目瞭然でした。誰もがこの時期になればタテホさんの出前授業だと思ってくらい定着させていきたい」と感想を述べた。また、タテホ側でも、小学生に対して授業を行うことで分かり易く説明や実験を行うことの難しさや重要性を認識できるとして「今後も若手中心に継続実施し、子供たちに感動を与えつづけていきたい」と今後に向けた抱負を語った。

No.32 (2013年秋号)

マグネシア・ミュー

編集・発行

タテホ化学工業株式会社

〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋字加藤974番地

TEL 0791-42-5041 (代表)

FAX 0791-45-2040

(本誌記事等の無断転載・複写を禁じます)